

「東京でのお土産開発支援事業」事業概念

事業の目的と概要

背景

- 国内のお土産マーケットは約3兆円・莫大な市場規模
(観光庁：旅行・観光産業の経済効果に関する調査研究)
- お土産はアイデアによって「付加価値」が付けやすい
- お土産は「価格競争」には陥りにくい

その大半は東京を中心とした首都圏

首都圏お土産マーケットの主なプレーヤーは地方メーカー

本事業は、意欲を持った食品事業者を募り、(株)生産者直売のれん会のご指導ご協力の下「秋田から首都圏でのお土産マーケットブランド」を構築しようとするものです。採択事業者は、同一ブランド・統一性のあるデザインで販路拡大を目指します。

のれん会駅ナカ展開事例

(株)生産者直売のれん会が展開してきた統一ブランドによる食品事業者支援事例

<広島>	豆菓子
<岡山>	チョコレート
<宮城県>	缶詰
<広島>	パン



事業スケジュール



6月～11月：コンセプト作成・商品化
12月：テストマーケティング
1月～3月：商品改善と展示会出展
※実際に販売を行い、さらに「展示会」出展で販路拡大を目指します

県が望む食品事業者

- ・東京でのお土産開発という趣旨に賛同している事業者
- ・商品力あるいは生産技術など他業者に秀でた“売り”を持つ事業者
- ・自社の将来ビジョンと今回の企画が一致した取り組みである事業者
- ・当事業の実施にあたり専任の担当者を配置できる事業者

問い合わせ先 010-8572 秋田市山王3丁目1-1 秋田県観光文化スポーツ部
秋田うまいもの販売課 調整・食品振興班 堀
電話018-860-2258 メール shokusan@pref.akita.lg.jp